

■米国：Duke エナジー社が自由化市場からの撤退を明言

大手電気事業者 Duke エナジー社（本社ノースカロライナ州）のグッド CEO は 2014 年 2 月 17 日、米国中部における競争市場での発電事業を安定的な利益を得られないとして今後の成長戦略構想から外す考えを示した。主にオハイオ州内の石炭・ガス火力を中心とした 13 の発電設備（660 万 kW、同社発電設備の約 13%）は、1～2 年内をめどに売却している。同社管内で唯一、小売自由化制度を採用しているオハイオ州は、政府が Duke エナジー社を含む電気事業者に発送電分離を促すなど、近年、小売自由化推進に向けた動きが著しい。報道によれば同社は、制度移行期間中の供給保障に関するコスト回収を求める訴えを同州公益事業委員会に提出していたものの、前日にこれが棄却されたことが今回の発表につながったとしている。